

祝新築落成

磐城セメント株式會社

常磐海岸新報

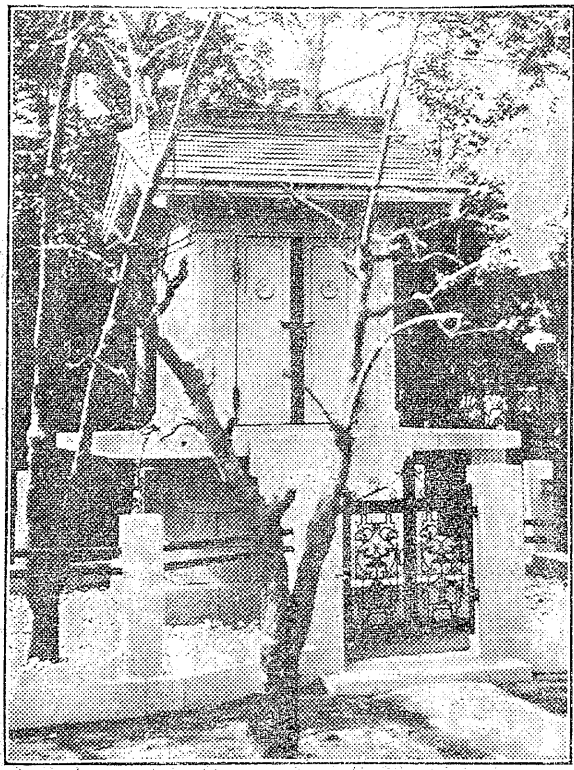
旬刊月三回七十七、定價一月部二十錢、三月部六十錢、半年部一百二十錢、一年部二百四十錢、廣告(一行五十錢)料(場所指定十錢)増、發行所 福島縣平町堂前二、常磐海岸新報社

東北第一と誇る

大浦小學校新築落成式

神嘗祭の吉辰をトし 關係有志を招き盛大に舉行さる

村民の尊き犠牲と涙ぐまじき工造二階建にして間口四十二間、堂誠一氏並に村會議員諸氏の努力を以て、約八ヶ月に亘り五間三尺軒の高さ三十尺、力に依つて總工費七萬一千九百を遂げた石城郡大浦村小學校の共總建坪五百二十六坪、教室の築師として定評ある小出英氏の新築校舎、落成式は豊稔數が十四、外に職員室、應接室、熱誠なる工事監督のもとに、去の秋をたごふる十月十七日神嘗あり屋上はアスファルトの運動場九月三十日校舎全部の竣工を祭の嘉日をトし、木の香新らし場を備へる等至れり盡せりの構看たるものにして、殊に御眞影を大講堂に於て、朝野名士、關造である。舊來の木造校舎が腐泰安庫は經費六百三十余圓を要係有志數百名を招き盛大に舉行柄願履し、加へて就學兒童激増したる頗る堅牢壯麗なる建造物されることになつた、此の偉大のため狹隘難を叫ばるゝに至りてある、因に同校の建築請負人は、斯界に常評ある



御眞影奉安庫

江口忠一 氏で同校の今

日あるは勿論村當局並び村民の殖を離れ、朝夕新校舎の出現に拂つた、工人江口忠一氏に負ふ大きな努力の結晶であるが、利涙ぐましい奮闘と大きな犠牲を處が多いと噂されて居る。

完く工事委員長の使命を果した

酒井良平氏

建校の議ひたたびまどまるや、を蔽ひ勢力隆々たるものがあり衆望ある氏はたゞちに工事委員少壯政治家として將來を囑望さるに現在に至つたものである。

慈父の如く尊敬されてゐる

村長 渡邊金治氏

民の感激してることである。氏農村の經濟受難期に當り小農村を看る迄には、村長渡邊金治氏は智畧縱横、開放にして、嘗てに過ぎない大浦村に縣下第一の氏の可成りに大きな其れは言語は、郡會名議長として名望地方稱ある廣莊な小學校の新築落成に盡せぬ涙ぐましい努力があつた



役助木鈴 長員委事工井酒 長村邊渡 長校堂階二

大浦小學校全景

た、氏は代議士木村清治氏の義現狀に鑑みて村費に對しては常兄であつて、木村氏が政治家とに私財提供の犠牲を拂ひ村民のして名實共に誼はるゝに至つた負擔を少しも輕からしめんとのは實に氏に負ふ處が多い。村してゐるなど到底他町村長の追長の榮職に就き終始一貫誠心誠意を許さぬ美徳があり模範村長意を以つて村治に執掌し貢獻せし功績顯著なるものがある、殊に村民からは慈父の如く尊敬に慈愛の念厚く疲弊せる農村のれてゐる。

家憲十訓を掲げ 土木界に雄飛する

堀江工業社長 江口忠一氏

▲理想的 校舎建築の功勞者と居る、今同氏の請負になる郡内して、落成式場、表彰される工のみの工事種類の一端を示せば事請負人、平町堀江工業株式會社社長、江口忠一氏は常磐土木業界の雄鎮にして、東北は勿論北は北海のハテより西は關西、九州方面まで雄飛なし、隨所に記録の工事を印し、其の堅實にして而かも嶄新なる施工振りは、づれも工費二萬圓以上のものは氏の人格的長所と併せて



▲斯界を 風靡して居る。氏は橋梁、工事等の最なる工事は皆壯より斯界に身を投じ、臺灣澎湖氏によると稱せられてゐる。江湖島築成砲臺道路開鑿工事を始め、鎮海灣要港部工事、朝鮮起業會社等を轉歴し、日露の役には、工兵曹長として出役、勳七等功七級を有して居る。性剛直にして、其の精勵さに至つては氏を識る者を賞せしめて居る。氏は左記の如く

▲十訓を 掲げ、家憲とも又氏が統掌する堀江工業株式會社の社則ともなし、躬ら服膺すること共に社員一同の處世訓となして